

平成29年度 事業方針及び計画

1. 事業運営方針

(1)平成29年度は、OSAKA2020夢プログラムの目的を達成するため育成対象競技者を厳選し資源を集中的に投じることにより当会登録競技者から2020東京オリンピックに代表選手を輩出できるよう本事業を当会を上げて取り組む。

(2)第7回大阪マラソン大会、第85回大阪陸上競技選手権大会などを主催し、国際化を進めるとともに普及活動並びに競技基盤の強化を図る。また、第4回木南道孝記念陸上競技大会を開催し全国的な競技力の向上を図るための一翼を担う。

(3)第101回日本陸上競技選手権大会、第37回大阪国際女子マラソン大会の主管、内外主要競技会への役員・選手派遣、各種陸上競技会に対する審判員派遣など、陸上競技の普及と発展を図る。

(4)公益財団法人日本陸上競技連盟、近畿陸上競技協会、公益財団法人大阪体育協会等の関係機関に対して役員を送るとともに、大阪高体連陸上競技専門部などの各協力団体と密接に連携し、大会運営技能・審判技術向上、陸上競技の普及、選手の育成を図る。

2. 事業計画

(1)選手強化育成事業等

国際的に活躍できる選手を育成するため競技力の向上を図る取り組みを推進する。関係機関・諸団体の協力のもと「OSAKA2020夢プログラム」を着実に推進するほか大阪市トップアスリート育成事業とも連携し東京オリンピックに向けた選手強化を図る。2017 IAAF世界陸上選手権ロンドン大会の最終選考会となる第101回日本陸上競技選手権大会を主管するとともに、第4回木南道孝記念陸上競技大会の国際化を進める。

ジュニアの育成を図るため中華台北との交流競技など競技力向上に資する交流活動を促進する。

陸上競技の普及、選手の強化を図るための各種競技会、強化練習会等を実施するものとし、2年目迎える第65回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会の主管をはじめ本事業年度に実施する競技会等は、次のとおりとする。

平成29年度 大阪陸上競技協会が関係する競技会(別紙)

平成29年度 競技会 日程・行事予定(別紙)

(2)情報化の推進

競技会申込のWEBサイト利用など情報化を推進するとともに、競技会における先端技術の活用等を促進していく。

(3)普及育成事業

世界に通用する競技者を発掘、育成していくため、日本陸連及び各協力団体との連携を深め、選手の育成、強化や指導者の育成に取り組んでいく。